

インドネシアのパン

インドネシア人の主食と言うとお米。このレポートでも過去にレストランを紹介していますが、今回は少し趣向を変えて「パン」について紹介します。「お米」が主食の国なのに「パン?」と思われるかもしれませんが、インドネシアでも「パン」に対する評価と人気が経済発展と同様、急上昇しています。

数年前までは、「インドネシアのパン」と言うと日本人が好む味、日本で食べる味とはかけ離れているものでした。食パンは「パサパサ、粉っぽい、もちり感がない」、加工パンは「種類が少ない」「甘い・辛い」といった極端なものでしたが、近年外食産業が多く参入してきたことにより日本やヨーロッパなどの製造技術や品質管理などが普及し、今では日本で食べるパンと同じような美味しい商品が手に入るようになりました。

現地企業との合弁により日本のパン製造の技術で製造した「SARI-ROTI」が人気の「敷島パン (PASCO)」は、非常に販売が好調で 2010 年にはインドネシア証券取引所に上場しています。また最近では、「山崎製パン」がジャカルタ近郊に工場建設を予定し、三井物産が地元製パン会社 PT Asa Foodnesia Abadi に出資するなど、世界的にも重要なマーケットとして注目されています。



スーパーマーケットのパン売り場

流通面では、大手企業はデパートやショッピングモール、コンビニエンスストアなどに卸していますが、上記 SARI-ROTI 社は工場稼働時から現在まで、昔ながらの販売方式である自転車・バイクによる移動パン屋として、地域密着型で音楽を流しながら住宅街を走り販売する方式で成功を収めています。もちろんスーパーマーケットでの販売も行っておりますが、このような昔からの販売方式は、かつて「味の素」も行ったように、インドネシアの販売戦略としてまだまだ高い評価を得ています。



SARI-ROTI の移動販売



行列ができるほど人気の
シンガポール系列のベーカリーショップ

大手企業は、投資額からもわかるように工場での機械による製造が中心ですが、手作りにこだわった美味しいパン屋、いわゆるベーカリーショップも以前に比べ多く見かけるようになりました。ジャカルタ市内でも日本の企業が技術指導しているベーカリーもあれば、オランダで修業したインドネシア人が作るベーカリー、シンガポールに拠点を構えているベーカリーなど多種多様です。もちろん昔からやっている老舗と言われるベーカリーも健在です。また最近では製造工程が見えるオープンキッチンタイプのベーカリーショップもできています。インターネットの普及により店を構えずにオンライン販売のみ行っているベーカリーショップもあり、事前に注文すれば指定した時刻に届けてくれるデリバリーサービスもあります。

<参考資料>

オンライン販売のパン屋さん

COTTON BUNS <http://www.cottonbuns.com/id/>

AJ Bakery <http://www.ajbakery.com/>

価格帯は店舗により異なりますが、近年新たにできたベーカリーショップなどは、原料の小麦粉やバターにこだわり、いわゆる中間層～富裕層をターゲットにした価格設定となっています。例えば（お店により異なりますが）フランスパンは 20,000 ルピア（約 200 円）、菓子パンは 8,000 ルピア（約 80 円）程度で購入できます。コンビニなど機械で大量に製造された商品は 5,000～10,000 ルピア（約 50～100 円）などの価格帯が多いようです。最近では健康志向も中間層を中心に高まってきており、ノンシュガーや低カロリー、天然酵母などを使用した手間のかかるパンも人気があります。インドネシアでも現在の日本同様、食に対しての「安心・安全、品質の高さ」が求められ始めています。

岡山県インドネシアビジネスサポートデスクが入居している「Wisma Nusantara Building」の2階には岡山県のおかやま工房が技術提携している「PAN-YA（ぱん屋）」が店舗を構えています。日本式の品質・商品ディスプレイで大人気となっており、グランドインドネシア、スディルマン FX モールなどで展開していますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



PAN-YA（ぱん屋）

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. JC内）概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」[利用の手引き](#)をご覧くださいのうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。